



自分の心を強くする
座右の言葉



良一

自分の心を強くする座右の言葉

私は旧海軍で教育を受けた一人です。太平洋戦争に参加し、多くのことを学びました。

海軍思考法の一端ですが、プラス思考のこの精神を理解していただき、それぞれの日常生活の場におおいに活用され、人生航路の一つの糧として活かしていただきたいと念願するものです。

1. おこるな

怒ってはいけない。「怒る」と「叱る」を混同してはいけない。「怒る」ことは興奮して怒り、信頼関係を破壊してしまうことになります。感情が暴走し、破壊的で暴力的な言葉を相手に投げつけてしまうことになります。

「叱る」ことの要諦は、教えながら諭すことであり、このことは私が海軍で学んだ大切なことの一つです。

2. いばるな

「実りほど頭（こうべ）をたれる稲穂かな」という言葉があります。人間として充実して人は、他人様を見下したりはしないものです。威張るとは、自己中心的で視野のせまい考え方で発展性がありません。

また、いばることによって人と協調できないし、最終的には孤独で、自分の殻に入って脱出できない人生を辿ることになります。

3. あせるな

緊急事態が発生した時に対応する決定語です。

よく「木を見て森を覩ず」とか「森を見て木を見ない」と言われますが、パニックに陥って視野がせまくなり、正しい判断ができないことがあります。

緊急事態の本質とは何か、ポイントは、応急手当は可能か、その対策は、そして優先順位は何か、など考えることが肝要です。

「急いで事を仕損じる」ということわざもあります。

4. くさるな

「くさる」とは思いどおりにいかず、気が滅入って元気を失うさまをいいます。

いやなことがあっても「なにくそ」と思いながら、ことの経過を冷静に見つめ、また失敗の要因はどこにあったかをチェックする気構えが重要です。

まずは思い返して分析することです。そこで不足の事項、予備対応の内容が浮き上がってきます。

5. まけるな

相手に負けてはいけない。そのためには現状分析する必要があります。

孫子の「敵を攻めんと欲せば、必ず謀（はかりごと）を先にせよ」という言葉どおり、対策をまず立てて方針を定めましょう。

「お」……おこるな。

「い」……いばるな。

「あ」……あせるな。

「く」……くさるな。

「ま」……まけるな。

「お・い・あ・く・ま」＝「おい、悪魔！」は「悪魔追放」の言葉でもあります。
どうかぜひ、この言葉を活用してください。